

【NO 480】

令和3年3月

## 長崎港大型客船夜間入出港等に伴う航行安全対策調査専門委員会

### 1 委員会報告書概要

本委員会では、長崎港松が枝岸壁への15万GT級客船及び16万GT級客船の夜間受入れ等の安全性について調査・検討し、船型毎に入出港について必要な航行安全対策を取りまとめた。

検討対象船舶の15万GT級客船は平成21年度に、16万GT級客船は平成27年度に、それぞれ専門委員会で同岸壁への昼間の受入れに係る調査・検討がなされている。

このため、夜間における入出港の安全性の検討にあたり、入出港基準、係留位置及びビジュアル操船シミュレーション実施の諸条件は、過年度の昼間における検討時と同様とした。ビジュアル操船シミュレーションでは、計画されている対象岸壁の照明その他夜間の景観を再現して、夜間入出港時の安全性及び夜間入出港条件を検討した。

また、15万GT級客船については、昼間の入出港における風速条件について、航路内(女神大橋付近)では12m/sとされ、本船の性能が実際に確認されるまでは松が枝岸壁付近で10m/sと制限されていたところ、今般の検討の結果、港内全ての海域において12m/sで操船可能であることを確認した。さらに、出船左舷付けに係る操船についても安全性を検討した。

### 2 調査等概要

- (1) 調査概要
- (2) 大型客船受入れ計画
- (3) 航行環境
- (4) 既往調査概要
- (5) 既往調査における実験条件整理とケース選定
- (6) ビジュアル型操船シミュレータ検証実験
- (7) 航行安全対策